

「化学リテラシー」シラバス

沖縄県立八重山農林高等学校

教科	理科	単位数	1単位
学科	全学科（AS対象者）	学年・組	2学年（AS対象者）
使用教科書	なし		
副教材	なし		

「化学リテラシー」とはこんな科目です（科目の概要と学習目標）

「化学リテラシー」の特徴は、「化学基礎」の履修を踏まえ、大学等へ進学した後、学習を進める時に必要とされる基礎学力（知識）の修得と、より実験・実習の基礎的な素養を定着することを目的にしている。特に、農業系への進学を視野に入れ、有機化合物や高分子化合物を中心に学習し、また、実験分析に必要な基礎知識などを身に付け、化学的な考え方や探求する方法を学ぶとともに、具体的な事例を取り上げて化学の果たす役割を理解し、化学に対する興味・関心を高めることを目的とする科目である。

授業の進め方

* 授業形態

- 40人一斉授業
- 実験・実習時は4人1グループのグループ学習

* 授業の際の心構え

- 実験時は危険な薬品・器具等を扱うため、実験・実習の基礎的な技能を身につけ取り組む

「化学リテラシー」の評価の観点

評価の観点	内容	評価方法
関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	授業への参加状況 実験レポート 授業ノート
思考・判断・表現	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	定期考査 実験レポート 授業ノート
観察・実験技能	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得し、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象を科学的に探究する技能を身に付けている。	定期考査 実験レポート 授業ノート
知識・理解	授業内容や実験・観察から、物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	定期考査 実験レポート 授業ノート
以上の事項を総合的に判断し評価します。		